

2020年改訂版 不整脈薬物治療ガイドライン
初版～2020年6月19日更新版 正誤表

記載に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに下記の通り訂正致します。
(2020.8.28)

訂正箇所	誤	正
p12 表4「Minds エピデ ンス分類」出典	p16	p15
p16 表6「Sicilian Gambit の提唱する薬剤 分類の枠組」 プロプラノロールの受容 体	M ₂	
p16 表6「Sicilian Gambit の提唱する薬剤 分類の枠組」 アトロピンの受容体		M ₂
p20 表8「循環器薬の薬 物代謝に関するチトク ロム P450 - 代表的な基 質，阻害薬と誘導薬」		表下に下記を追記 [2015年版循環器薬の薬 物血中濃度モニタリングに 関するガイドラインからの 変更点] CYP2C9 の阻害薬 にブコローム,ベンズプロマ ロン,アゾール系抗真菌薬, シメチジンを追加,CYP2C9 の誘導薬にボセンタンを追 加,CYP3A4 の基質にリバ ーロキサバン,アピキサバ ン,エドキサバンを追加
p49 図12「心房細動に おける抗凝固療法の推奨」 左下	ワルファリン(年齢によらず INR 1.6～2.6 ²)	ワルファリン(年齢によらず INR 1.6～2.6 ³)
p57 表39 心房細動患者 の抗凝固療法における出 血リスクからみた観血的 手技の分類	・通常消化管内視鏡 ・上部・下部消化管内視鏡, カプセル内視鏡,内視鏡的逆 行性膵胆管造影など	・通常消化管内視鏡 _(上部・下部消化管内視鏡, カプセル内視鏡,内視鏡的逆 行性膵胆管造影など)_

【出血低リスク手技】	<ul style="list-style-type: none"> ・体表面手術 ・膿瘍切開，皮膚科手術など 	<ul style="list-style-type: none"> ・体表面手術 ・<u>膿瘍切開，皮膚科手術など</u>
p57 表 39 心房細動患者の抗凝固療法における出血リスクからみた観血的手技の分類	<ul style="list-style-type: none"> ・出血低リスクの消化管内視鏡 ・経尿道的手術 [膀胱生検，膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt），前立腺レーザー手術，尿管碎石術] 	<ul style="list-style-type: none"> ・出血低<u>危険度</u>の消化管内視鏡 ・経尿道的手術 [膀胱生検，膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt），前立腺レーザー手術，尿管碎石術<u>など</u>]
【出血中リスク手技】		
p57 表 39 心房細動患者の抗凝固療法における出血リスクからみた観血的手技の分類	<ul style="list-style-type: none"> ・出血高リスクの消化管内視鏡 ([ポリペクトミー，内視鏡下粘膜下層剥離術（ESD）など]) ・経皮的ラジオ波焼灼術（経皮的アルコール注入術・マイクロ波凝固術） ・超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA） 	<ul style="list-style-type: none"> ・出血高<u>危険度</u>の消化管内視鏡 [ポリペクトミー，内視鏡下粘膜下層剥離術（ESD）<u>，内視鏡的十二指腸乳頭切除術，内視鏡的食道・胃静脈瘤治療，超音波内視鏡下穿刺吸引術（EUS-FNA）など</u>]
【出血高リスク手技】		
p62 左段 上から 10 行 目	表 42 ^{467a)} に合致する	表 42 ^{476a)} に合致する
p67 図 16 タイトル*	頻脈性心房細動に対する心拍数調節療法療の治療方針	頻脈性心房細動に対する心拍数調節療法療の治療方針

無印：2020 年 6 月 19 日更新，*：2020 年 8 月 28 日更新